



ホームページはこちら!
相鐵ホームページURL
www.soutetsu.jp

Twitterはこちら!
相鐵Twitterアカウント
@soutetsu2005

昨年の10月よりホームページが新しくなりました。保有設備や能力なども最新版にアップデートされ、アスリート(社員)やスタジアム(工場)を紹介するコーナーもあらたに登場。相鐵をより身近に感じてもらえると思います。また、相鐵新聞のバックナンバーやパンフレットもダウンロード可能に。更に昨年の9月からTwitterでの情報発信も開始。日常のひとコマを“つぶやき”ます。ぜひ、フォローの方も宜しくお願いします。また、このリニューアルによって、お手元のスマホからも快適にご利用いただけます。今まででも見やすく、デザインもスタイリッシュになりました。今後も最新情報を随時更新していきます。

TOPIX

相鐵ホームページがリニューアル!

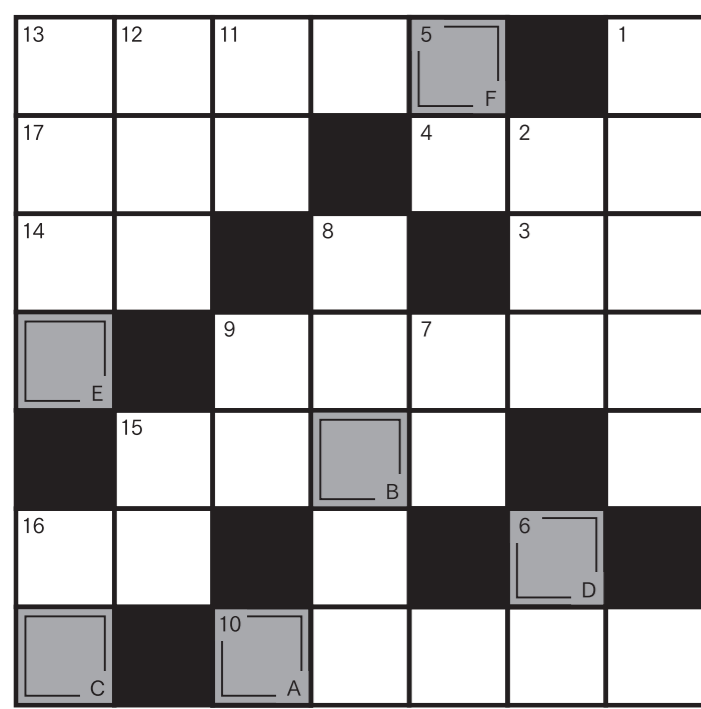


仕事をたのしくするのはあなた自身。さあ、主人公になろう。今の自分を好きになる、そんなあなたに相鐵新聞



懸賞鐵クロスワードパズル

正解者の中から抽選でローズ ティーを5名様にプレゼント! LET'S TRY!



- ヨコのヒント
- ③腰掛けるもの
 - ④一工夫すること ○○○の効いた台詞
 - ⑤雪が降ったら作るものといえは?
 - ⑥貼ってもよし、持ち歩いてもよし、冬の必需品
 - ⑦相鐵はこんな風になりませんように...
 - ⑧元素記号は「P」
 - ⑨夢は大きく!
 - ⑩年賀状を〇〇
 - ⑪DNAのこと
- キズナ
- ①手袋と拳銃は必需品
 - ②あしは指先で
 - ③自分で支払うと
 - ④安らぐ事、電子メールが普及して
 - ⑤冬になると真ん中泳いじりタヌキだー!
 - ⑥水をためてお風呂に泳いじりタヌキだー!
 - ⑦スズメは、電子メールが普及して
 - ⑧冬になると真ん中泳いじりタヌキだー!
 - ⑨アオダイコンにはなまてマシにはある
 - ⑩大事なスピーチに限って...

シンガポールのお土産

TWG Tea
「バンドゥローズティー」
2.5g×15袋

最近リニューアルしました!

解答欄	A	B	C	D	E	F
-----	---	---	---	---	---	---

A~Fに当てはめて言葉を完成させよう!!
ご応募は左記方法にて受け付けます。

応募締切日

2/9(金)

前号の答え ちーむわーく

わ	か	さ	ま	つ	ち
へ	あ	い	ど	く	
い	ね	む	り	ね	こ
こ	い	ひ	い	こ	い
さ	い	し	ど	み	の
く	よ	も	つ	ぼ	
ら	い	ん	ひ	ぼ	り

解答は住所、電話番号、お名前をご記入の上こちらまでお願いします。(担当・平山)
MAIL sayuri.hirayama@soutetsu.jp (24時間受付) FAX 0294-33-2632 (24時間受付)
TEL 0294-33-2005 (7:55~17:00 土日・祝日を除く)

1週間限定

切断

シャーリング

5%割引

※対象期間1/29(月)~2/2(金)内のご注文に限ります。
※詳しくはホームページをご覧ください。

ちょっとひと息 編集後記

新年おめでとうございます。編集長の丸藤です。今回はシンガポール出張でのヒトコマを話します。3泊4日の小旅行。生粋のJAPANESEである私は英語を話せません。そんな私を危機が襲います。社長と平山副編集長と一緒に土産を買いにショッピングモールを散策中、「ここからは自由行動ね、解散!」の一言。そうです。自力でシンガポールを攻略しなくてはならない状況へ...

今回不思議な感覚だったのが、その後地下鉄に乗り、片言の英語とジェスチャーで会話し、いろいろな場所へ行ったこと。日本においては“ムリ”と考えてしまうこの状況を楽しんでいる自分がいたこと。シンガポールの雰囲気こそうさせたのかは謎ですが、この歳になっても昨日の自分より成長している実感を肌で感じられました。これって、幸せな時間だと思いませんか。

「鉄のリレー」の最終ランナー、 今日も重い荷物と想いを乗せて。

相鐵では配達用自社車を8台所有している。営業部で4台、残り4台は表紙に写る彼ら配達部が使用する。3トン~8トンまで荷物の重量・形状にあわせて最適なトラックでお客様の元まで運ぶのが彼らの仕事である。相鐵は少量多品種が会社の強み。裏を返せば、大小様々な形状の製品が所狭しとならんでいる中、それらを考慮し限られた荷台のスペースに収まるように積み込みをしていくのである。その日の配達ルートで積む順番も違う。まさにプロの仕事である。最近では茨城県北~県南地域に限らず、福島県・千葉県、西は栃木県など近県への配達もスタンダードになった。本号の特集は、相鐵ロゴの入ったトラックであなたの街を走っている彼ら配達部が主役である。



相鐵ではお客様へ製品を配達するのは、基本的に全て自社便で行なっている。重量物の多品種輸送・小口配送システム。これらを可能にしているのが今回の主人公「配達部」の彼らである。この2・3年でみると、会社の成長と比例して配達エリアも拡大している。北は福島県小野町。南は千葉県成田市近郊、栃木県宇都宮・小山市。県西地区は境町や常総市、県南地区は稲敷市まで。圏央道の開通により、近くて遠い地区も配達エリアに取り込めたのが大きな要因となっている。入社歴が長い社員は「昔はいわき市・土浦市なんかはものすごく早く感じたなあ。でも、今は毎日あたり前のように便がでる。今はその先まで配達だからね」。

配達効率を考え、遠方のお客様にはまとまった量を一度に運ぶことになる。よって、その積み込み量も形状も自ずと重く複雑となる。それを彼らは、トラックの荷台という舞台上でつなくこなすのである。そこにある想いは「少しでも早く、待っているお客様に安全に届ける」。その使命感だけが彼らの原動力になっているのかもしれない。“製品を運んでいるだ

け”と言えばそうかもしれない。だが、そこには製品の原料から加工まで携わった人々の想いも運んでいるのだと思う。そして、「鉄のリレー」のバトンは今これを読んでいるお客様へと託されるのである。

ここで配達部のメンバーを紹介したい。毎日の配達スケジュールを組み立てているのが、部長の萩庭裕一である。その日製作完了した伝票を整理し、もっとも効率的なルートを探る。前述のとおり様々な形状・重量・荷姿など、考慮しなければならない項目が多数ある中、最適なトラックへと伝票を振り分ける。彼なくして、相鐵の小口配送システムは機能しないだろうと誰もが口をそろえる。

主に栃木方面の配達をメインにするのが、大湖宣之。配達部副部長を務める。彼の愛車は4トン車。遠方への配達が多く積み込む製品の種類も多い。積み忘れを防ぐ為、製品枚数などをチェックする姿が責任感の強さを感じさせる。配達部のムードメーカーである。

続いては配達部最古参の沢畑浩である。6ト

ン車に乗るベテランは、「俺は運転が好きだ。だからこの仕事を選んだ」と語る。体の疲労と戦いながら、今日もハンドルを握る。

相鐵で一番大きな8トン車に乗るのが檜山貴洋。トラックの大きさに似合わず、彼は几帳面に積み込みを行なう。お客様のところで降りしやすくなるように考えながら、トラックの荷台は常に整理整頓されている。丁寧に心を込めて愛車を洗う彼の姿こそプロフェッショナルなのだと思う。

3トン車の機動力を活かし、オールマイティに立ち回るのが田所智成。配達部では最年少である。大型車が入れないところや、遠方へのスポット配達などを淡々とこなす。近い将来、大型車に乗っている彼の姿が楽しみである。

物流業界の人手不足がたびたびニュースで取り上げられる昨今、相鐵には心強い仲間がいるのだと実感する。今日も相鐵の看板を背負い、街を駆け抜ける彼らにエールを送ってほしい。ありがとうの一言が、彼らの大きな活力へと変わるのである。

相鐵ブランドを届ける。 安心・安全が 最大のミッション。 みんなの想いを運びつづける！



平山副編集長が行く！ シンガポール視察レポート

相鐵を今よりもっと大きくしていくには

社員1人1人の向上心や協調性、必要な事を考えればキリがないが、その中でも、仕事量に見合った設備を整えるのも今の相鐵にとって大きな課題である。工場の増設や、港を利用した船での製品の配達。そんな野望を抱えている中、シンガポールの港湾を見学する機会をいただく事ができた。

シンガポールはとても小さな国であるが経済力は非常に高い。島国であることを利用した貿易中継地として栄えており、コンテナ取扱量は世界第2位である。沢山の船から、沢山の荷物を。フォークリフトやクレーン、トラックなどを利用し、迅速かつ、正確に1日に1つでも多くの荷物を運ぶ。そのために、コンテナを動かすクレーンは自動運転の試験も行なわれていた。24時間無人でフル稼働で荷物を運ぶのもそう速くないと感じた。

今回の出張で海外に行くのは2回目になるが、毎回強く

刺激を受ける。日本ではあり得ない、柔軟でユニークな発想を目の当たりにする。57階の屋上にプールを作るなんて、誰が考えたのだろうか。しかしそのホテルはシンガポールで有名な観光地となっており、5つ星の評価を得ている。誰も考え付かないような事が、きっと沢山の人を魅了していくのだろう。そんな柔軟な発想力も、相鐵を大きくするのに必要な事の1つなのかもしれない。

シンガポール	
面積	7191.1km (東京23区と同じくらい)
通貨	シンガポールドル
人口	560.7万人
公用語	英語・タミル語・マレー語



昨年の10月21・22日の2日間、営業合宿で被災地である宮城県南三陸町を視察してきた。映像でしか見たことがないその現場を、肌で体感することができた。常磐道から見える福島原発。その周辺では汚染物の入っ

た土塵が積み上げられ、民家は当時のままそこに存在する。人や車の影はなく草木が伸び放題になっている。近くて遠い場所、そう感じた。津波に襲われた南三陸町防災対策庁舎周辺も、道路や区画

整理はされつつあるものの、建物や街と呼べるものはなく、その現実を目の当たりにし唖然とした。6年という月日が長いのか短いのか。私たちにできることを考え、この出来事を風化させてはならないと心に刻むには十分過ぎる時間だった。

東日本大震災から6年 現場の今をレポート！

氏名 ①自己紹介 ②趣味・特技 ③仕事での“やりがい”とは ④最近の悩み ⑤今後の抱負

萩庭 裕一
①人に優しくがモットーです②ゴルフ!③お客様からの「ありがとう」の一言④役職者としてのリーダーシップ⑤相鐵の一員として更なる高みへの挑戦

大湖 宣之 4トン車
①超ポジティブ思考!②実業団陸上部で中長距離を走っていました③お客様の笑顔と、「ありがとう」の一言④彼女を絶賛募集中です⑤無事故無違反、労災ゼロ

沢畑 浩 6トン車
①大らかで大まか②自宅のガーデニング③自分の積んだ荷物が、無事に納品できた時④足腰の衰え(年には勝てず…)⑤無事故で帰社すること

檜山 貴洋 8トン車
①実は掃除好きの地味な性格です②読書・料理・ハイキング③「今日もありがとう」の一言④顔の小じわと体脂肪が増えたこと⑤お世話になった人へ恩返しをすること

田所 智成 3トン車
①周りからは天然と言われます②スポーツ観戦③お客様からの感謝の言葉④怪我や体調不良が続くこと⑤4トン車以上を運転できるようになること

配達トラック スペック表						
車種	項目	L 全長	L1 荷台長	H 全高	S 荷台斜長	W 全幅
		(単位:cm)				
8トン車(配達部:檜山)		864	660	272	680	247
6トン車(配達部:沢畑)		814	620	255	640	229
4トン車(配達部:大湖)		863	670	244	685	223
3トン車(配達部:田所)		598	435	230	450	193
3トン車(営業部:丸藤)		615	435	230	460	218
3トン車(営業部:鈴木)		599	435	255	460	193
3トン車(営業部:坪)		599	435	218	455	193
2トン車(営業部:野内)		598	435	213	455	193

おかげさまで“絶賛稼働中”。レーザー切断機の細部をご紹介!!

レーザー切断機 の能力表	対応可能素材・板厚	TLX-1470(コマツNTC)	LMRv TF2000(日酸タナカ)	ENSIS 3015AJ(アマダ)
		鋼板(SS400)	3.2~32.0mm	1.6~12.0mm
ステンレス	3.0~28.0mm	1.0~5.0mm	0.3~6.0mm	
アルミ・A5052	1.0~12.0mm	対応不可	0.5~6.0mm 純アルミ可(A1050)	
その他	シマ板・SM400・SM490 ハイテン・ウェルテン	シマ板・SM400・SM490 ハイテン・ボンデ鋼板	銅・真ちゅう・チタン・酸洗 ボンデ鋼板・SPCC・ハイテン	
発振器(定格出力)	CO ² , 6kw	CO ² , 2kw	ファイバー, 2kw	
特長	厚板、大型板材がメイン 切断テーブル4000×25000mm	中板厚の切断がメイン 切断テーブル3000×15000mm	板厚0.3~3.2mmの鋼板は窒素切断 切断面が酸化せずキレイ	
設計部担当	太田	平山	水戸	
製造部担当	藤咲	西山・神山	佐藤(洋)	

※上記以外の材料に関しても、お気軽にお問い合わせください。